



パークファン事業 試行実施のための公園活用の手引き(案)

パークファン事務局

令和3年9月





## 身近に、公園がある生活

あたたかい日差しが降り注ぐ公園で、どんな体験ができると楽しいでしょうか？

自然の散策、  
健康づくり、  
アウトドア体験イベント、  
ヨガやダンス、  
地域のクラフト作家さんが集まるイベント、  
親子で音楽を楽しむワークショップ、  
色々な活動がありますね。

公園で過ごす時間が豊かになると、毎日の暮らしが楽しくなります。





## 身近に公園がある生活を 一緒につくりましょう

令和3年度(2021年4月～2022年3月)に、大阪市では市民や事業者の皆さんとともに、もっと自由な発想で、もっと柔軟に、もっと楽しく公園を使いこなす「みんなで公園活用事業」(通称:パークファン事業)を進めます。

誰かが何かしてくれる公園ではなく、市民の皆さん自身が主役となって活躍する公園へ

パークファン事業では、公園を使ってやってみたいことを応援します。

市民や事業者の皆さんにアイデア出しや企画立案から実施までを行っていただきます。

パークファン事務局は、市民や事業者の皆さんのご相談に乗り、企画のとりまとめや広報、実施までの関係者との調整をお手伝いします。

**パークファン事務局：**

大阪市建設局公園緑化部調整課  
中央復建コンサルタンツ(株)





## プログラム主催者と、パークファン事務局の役割分担

パークファン事業では、プログラム主催者とパークファン事務局の役割分担を以下のとおりとします。

### プログラム主催者の役割

- (1) プログラムの企画立案・実施・運営
- (2) プログラム運営の責任者の配置
- (3) プログラムの事故予防と安全管理
- (4) 会場の設営、撤収、清掃、原状復帰
- (5) プログラムの広報
- (6) プログラム実施のための占用許可等の申請
- (7) 公園使用料の支払い
- (8) 地域で愛される公園づくりへの寄与  
(例：公園全体の清掃、自治会協働等)
- (9) 取り組みの公共性をさらに高める工夫パークファン  
(例：当日参加の枠の設置、他の来園者への配慮等)

※公園使用料の支払い、プログラム参加費徴収についてはパークファン事務局にご相談ください。

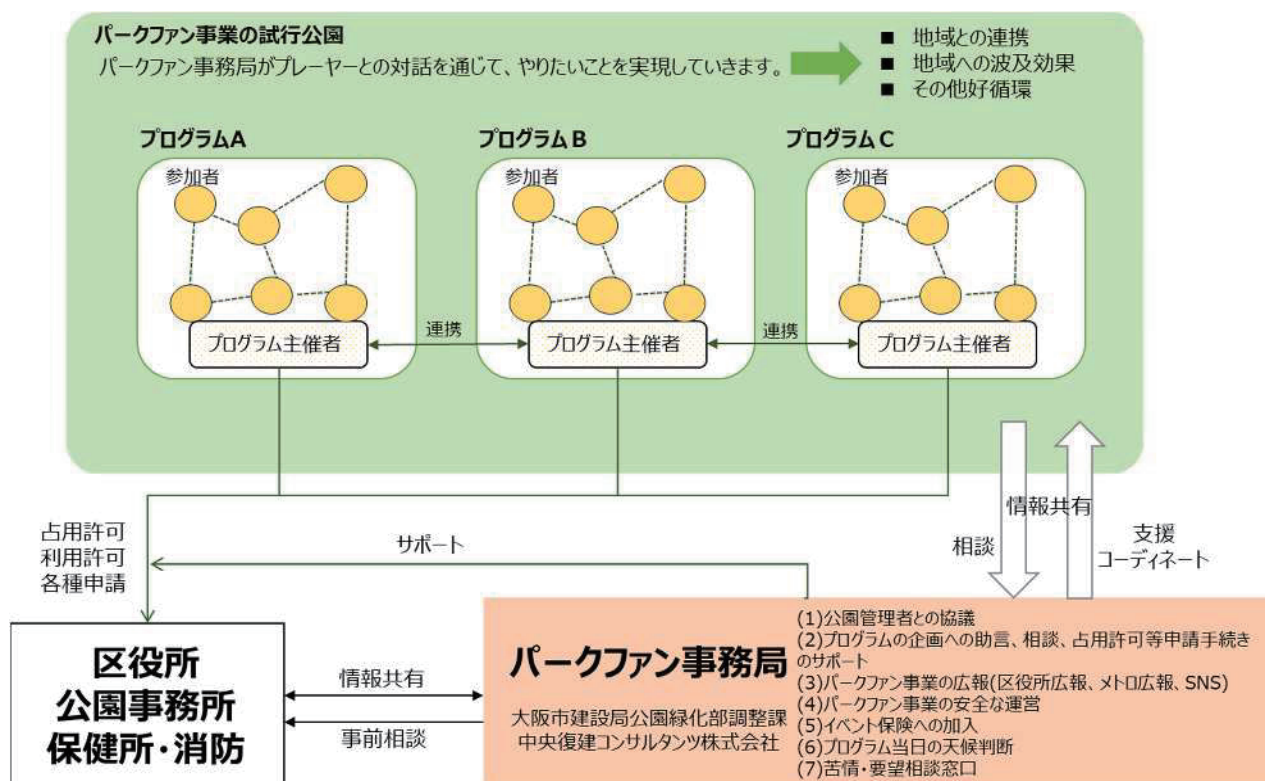
### 事務局の役割

- (1) 公園管理者との協議
- (2) プログラムの企画への助言、相談、占用許可等申請手続きのサポート
- (3) パークファン事業及び各プログラムの広報(区役所広報、SNS等)
- (4) パークファン事業の安全な運営
- (5) イベント保険への加入
- (6) プログラム当日の天候判断
- (7) 苦情・要望相談窓口





## パークファン事業の体制







## 新型コロナ危機に対応した 新しい公園の使い方

遠くへ出かけたり、大きなイベントに出かけたりすることが気軽にできなくなり、これまでとは違う日常の過ごし方が求められています。

住まいの身近にある自然環境の大切さが、今、認識されるようになっていきます。

いつもの公園を、新しい使い方をしてみたら、どうなるでしょうか。

安全に公園を使うためには、新型コロナウイルスの感染症対策が必要です。

皆さんのプログラムを実施する際には、以下の感染症対策を講じるようにしてください。

- (1) 参加者（プログラム参加者・運営スタッフ）の手指のアルコール消毒の徹底
- (2) 近距離での会話を避け、ソーシャルディスタンスの確保
- (3) 参加者の検温
- (4) マスクの着用